

新人保育者スキルアップ講座 幼児教育学科

■日時 平成30年5月19日(土) 13:00~15:30
■会場 E208



卒業生で、就職1年目の保育者16名が集い、まず「子どもの見方・子どもとのかかわり方」と題する乙部貴幸先生の講座に参加しました。その後、クラスごとのテーブルで懇談会を開きました。

保育教諭9名、保育士6名、幼稚園教諭1名で、4名はゼロ歳児担当、3名は1歳児、5名は2歳児、3名は3歳児、1名は4歳児を担当。保育者の第一歩を力強く踏み出し、頼もしい限りです。

アンケートによると、講座には、「学生の時とは違って『こういう子いますよね』という先生の一言にも、パッと園の子どもの顔が浮かんできた。働いてみて聞くと、授業の大切さを強く感じた。」「子どもの問題行動には何か理由があるということが分かりました。今までの私は、そんなことを考える余裕がなく、叱っていました。子どもの想いや考えをくみとることの大切さを学ぶことができました。」などの感想がありました。

懇談会は「久しぶりに会話ができて、悩みも解消されてとても楽しかったです。」「同じ大学に通って、同じ1年目の子たちと情報を共有できて嬉しかったです!あと、先生方からのありがたいお話を聞いて感動しました。ありがとうございました。」とのこと。久しぶりに集い、参加者みんな笑顔になりました。

(文責 前田敬子)

幼教卒業生OGのつどい 幼児教育学科

■日時 平成30年10月27日(土) 13:30~15:00
■場所 C館2階 カフェテリア内(南東)

企画担当者は、福井新聞情報ぷりん掲載、卒業後4~6年目の方々(総勢約330名)に案内葉書、直接のお声掛けなど、あらゆる手段でお誘いをかけたのですが、新人保育者にとって土曜午後への外出は思うに任せず、今年も参加人数は13名に留まりました。一方、教員参加は多く、松川学科長、重村先生・江端先生・木下先生・乙部先生・内田先生の軽妙な語り口のおかげで、華やかな会になりました。担当の前田も控えておりました。自由な歓談の後、先生方のご協力も仰ぎ、盛大に(?)豪華(?)景品(参加賞)付きビンゴゲームをしました。ほどよく盛り上がりました。

本学同窓会の催しがC館カフェテリア付近であると同じ、敢えてその一角をお借りできるよう、年度当初からお願ひしておいたのです。窓際の明るいテーブル席で「OG会」と遠目にも分かる紙を貼りました。長期的視野に立ち、この企画の知名度を上げるとともに、多くの卒業生に、母校や母校同窓会に親しみをもっていただく効果を期待したのです。地域に根付く学び舎の長所は、同窓生が母校のサポートを身近なものに感じ、繋がりを保てることにあり、特に卒業後4~6年目の離職を防ぐ効果も期待されて、理念の上では継続が望まれる企画だと思います。

しかしながら、数年来、企画担当者が交替しつつも強力に働きかけてきたのに、参加者が少ない状態が続いたこと、今年も可能な限りの努力をし、熱意をもって誘いをかけたけれど、参加者が依然として少なかったことから、企画そのものを見直す必要を感じています。

(文責 前田敬子)

